

令和7年度 学校関係者評価書

学校園名 附属竹早中学校

1 学校関係者による評価

領域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	<p>評価できる点として、①いじめやいじめが疑われる事案などの生徒指導上の問題が起こった場合には、学年の教員が協力して対応に当たるとともに、すぐに教員及び管理職で情報を共有し、即応する体制ができ、機能していること、②運営委員会を中心に生徒一人一人についての見取りを教員間で共有・連携する体制が整えられ、特別な支援を必要とする生徒についての理解や情報共有も進んだこと、③教員の働き方改革の一環として、校務支援ソフトの導入及び出退勤管理の厳格化によって業務の効率化が進みつつあること、④「未来の学校 みんなで創ろう。プロジェクト」の研究ならびに実装化を進展させたこと、⑤周辺5町会長との連絡協議会を実施し、意見交換をすることができたこと、などが挙げられる。</p> <p>課題として、①より良い教育環境の構築に資する働き方改革を進めていくこと、②特別な支援を必要とする生徒への合理的な配慮の在り方について教員間で理解を深めるとともに保護者にも周知すること、③体育館の空調設置や教室の空調修繕など、生徒の安全・健康に関わる施設改修を進めることが挙げられる。</p>
教育活動	<p>評価できる点として、①連携研究の成果を生かした主体性を育む授業を進めたこと、②生徒の希望に基づくDプロジェクトを推進したこと、③多くの生徒が時間をかけてじっくりと研究に取り組み、質の高い内容を文化研究発表会で発表できたこと、④校外学習、運動会、文化研究発表会、合唱コンクール等の行事において、生徒が協力して準備・運営し成果を挙げたこと、⑤生徒の意見も積極的に取り入れながら制服のリニューアルを進めていること、などが挙げられる。</p> <p>課題として、①幼小中連携教育研究の成果を教科教育及び生徒指導に一層生かしていくこと、②GIGA 端末やSNSの適切な使用について、保護者と協力して指導を強化していく必要があることが挙げられる。</p>
研究活動	<p>評価できる点として、①「未来の学校 みんなで創ろう。プロジェクト」第9期の最終年度に当たって、3年間の研究成果を2025年11月15日開催の公開研究会ならびに研究紀要において発表したこと、②80周年記念事業の一環として特別教室のリニューアルを進めたこと、③教育研究の成果を書籍として刊行したこと、④文部科学省の委託を受け、東京学芸大学先端教育人材育成推進機構とともに附属竹早地区（中学校・小学校）で実証事業「個別最適な学びを実現するための、生成 AI を活用した児童一人一人の見取りと個別の指導を支援するシステムの構築」を行ったこと、などが挙げられる。</p> <p>今後の課題として、特別教室の施設・機器整備を授業実践に生かし、研究及び実践の成果を積極的に発信していくことが挙げられる。</p>
学生の教育・支援活動	<p>評価できる点として、教育実習において、①指導案の作成指導を丁寧に行い、実習生もそれに応えて工夫を行ったこと、②授業後には授業者としてのふり返しを行うとともに、実習生全員で授業考察を行うなど、教科内で実習生と教科教員で成果と課題を共有し、情報交換や助言を行う機会を確保したこと、</p>

	<p>などが挙げられる。</p> <p>課題として、①教科指導だけでなく生徒指導等の体験を積ませる機会を可能な限り確保すること、②学級経営について、実習生同士で考えさせたり担当教員の話の聞いたりすることで、現場感覚を持ってもらうよう努めること、③教員の働き方改革の視点からの改善に務めつつ、個々の学生に応じた指導を一層強化していくことが挙げられる。</p>
社会貢献活動	<p>評価できる点として、①実践研究の成果を公開研究会や研究紀要として発表したこと、②教員が自身の実践研究について学会発表及び学会誌等での論文発表を行い、委員や研修講師の委嘱で外部機関に協力したこと、③複数の教員が教科書の編集や執筆に関わり、教育界に貢献をしたこと、などが挙げられる。</p> <p>課題として、①地域のモデル校、地域の研究拠点校としての役割を強化していくこと、②国際交流活動等へ参加を検討していくことが挙げられる。</p>

2 評価の実施概要

学校関係者評価委員会において、学校経営計画、重点目標、教育・研究の取り組み、いじめ防止対策の取り組み等について説明し、学校関係者委員の意見を聴取した。

3 学校関係者委員会委員、開催日

古谷顯史郎（教育後援会会長） 白石英行（同窓会理事） 土田晃博（PTA会長）
馬場哲生（校長） 浦山浩史（副校長）

①令和7年7月25日（金） 15時00分～17時00分

②令和7年12月15日（月） 15時00分～17時00分

③令和8年3月24日（火） 15時00分～17時00分